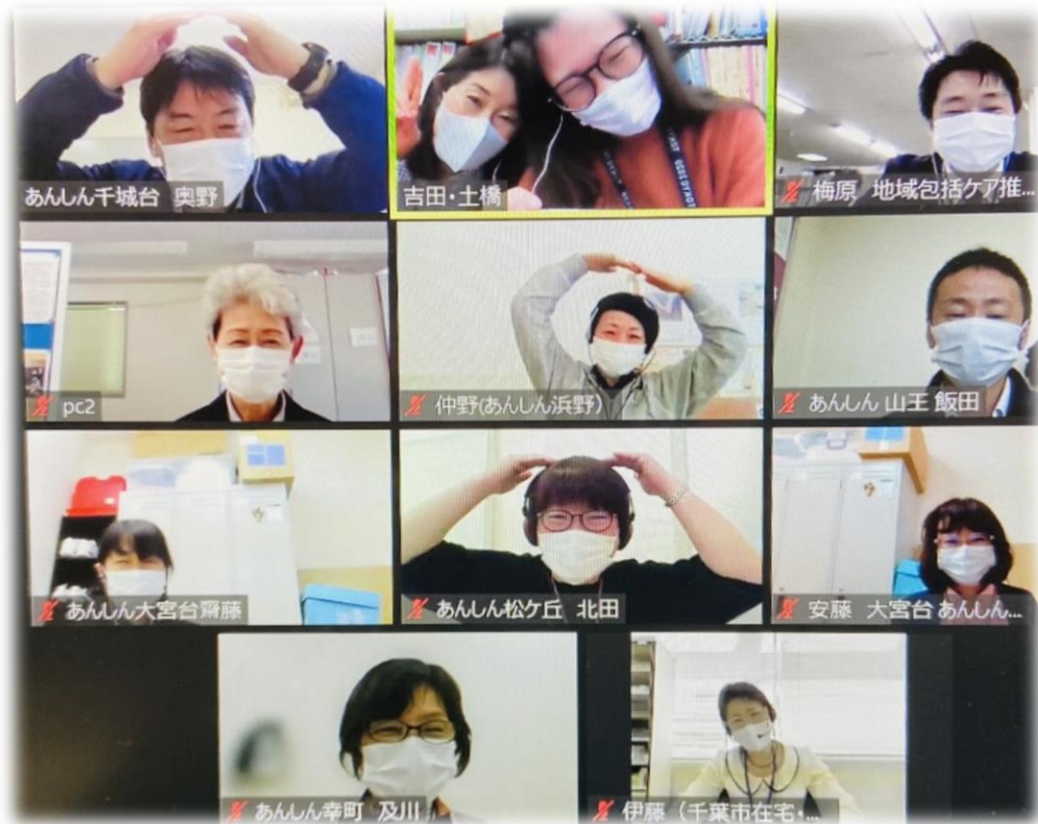


施策を展開するための推進員と多職種による班活動を 結成し、自発的・総合的な取組を力をあわせて推進



千葉市保健福祉局健康福祉部地域包括ケア推進課
認知症対策班 梅原 康宏・吉田 美穂



千葉市の紹介

千葉市は千葉県のほぼ中央部にあたり、首都東京まで約40kmの地点にあります。

中央区・花見川区・稲毛区・若葉区・緑区・美浜区の6区からなり、令和3年1月1日で市制100周年を迎えます。



基本情報

人口 974,726人
高齢者数 254,513人
高齢化率 26.1%

(2020.12.31時点)



千葉市の魅力



加曾利貝塚



オオガハス



千葉氏



浜辺

詳しくはこちらをご覧ください！



千葉市の紹介

		中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	全体
高齢化率 (R2.12.31時点)		22.8%	27.8%	26.7%	30.8%	22.9%	26.3%	26.1%
あんしんケアセンター (地域包括支援センター)		5か所	6か所	5か所	5か所	3か所	4か所	28か所
認知症カフェ		5か所	3か所	8か所	3か所	6か所	6か所	31か所
推進員	あんしんケアセンター (包括3職種)	13名	13名	12名	13名	9名	5名	65名
	第2層生活支援コーディネーター (推進員兼務)	3名	0名	3名	3名	0名	2名	11名
	疾患医療センター	1名						1名
	行政	7名						7名

令和2年度より認知症の人を含む全ての高齢者が希望をもって暮らせる地域づくりの推進のため、
各地域包括支援センターに第2層の生活支援コーディネーターを兼ねる認知症地域支援推進員を配置

千葉市の認知症施策(重点的取組事業)

施策名	取組内容
認知症への理解の促進	・ 認知症本人の発信支援 ・ 認知症サポーターの養成 ・ 若年性認知症への理解の促進
認知症予防に向けた活動の推進	・ 認知症の早期発見の重要性を含む認知症予防についての理解促進 ・ 生活支援コーディネーター（認知症地域支援推進員）による通いの場等の創出の推進
医療・ケア・介護サービス体制の向上	・ 認知症カフェの設置促進 ・ 認知症初期集中支援チームの活動促進と連携強化 ・ 医療機関と連携した早期発見・早期対応の体制整備 ・ 認知症ケアに関する医療・福祉従事者向けの研修 ・ 認知症高齢者家族介護研修 ・ ちば認知症相談コールセンター
認知症バリアフリーの推進と認知症の人の社会参加支援	・ 認知症の人同士の交流の推進（本人ミーティング） ・ 認知症サポーターの活動促進 ・ チームオレンジの構築 ・ 認知症の人を地域で見守る体制の充実

千葉市民の皆様へ

千葉市の生活支援サイト

～暮らしの困った・あったらいいなに応えます～

「気軽におしゃべりしたり、趣味が楽しめる場所はないかな？」
「健康のために、近所で集まって体操できる場所はないかな？」
「買い物や家事が難しくなってきた。手伝ってほしいな」
「一人暮らしで何かと心配。見守りをサポートしてほしいな」
など・・・

こんなご経験は
ありませんか？



交流の場・通いの場



見守り・安否確認



高齢者の
身近な相談窓口



日用品・食材・
弁当の宅配サービス



外出支援



認知症カフェ



家事援助

お住まいの地域で
暮らしに役立つ情報
が手に入る！

暮らしに役立つ情報がインターネットで検索  できます

<https://chiiki-kaigo.casio.jp/chiba>



生活支援コーディネーターが調査した
生活に役立つ情報が検索できます。



市政だよりに認知症とともに生きるご夫婦の絆、 ご本人と家族の声を載せました

広報広聴課とともに

ちば市政だより 2020

Chiba 12

認知症と共に生きる社会へ



これからも、
このまちで、
一緒に笑って暮らしたい

認知症の方と家族にお話を伺いました

このまちで笑って暮らしたい

たろうさん（77）認知症歴4年
外に出て体を動かすことが好きです。どんなことでもいいから、みんなで一緒に何かしたいと思っています。

若い時に野球をやっていたので、試合を見に行ったり、子どもたちと野球をしたりしたいな。

これからも、このまちで、ゆっくり笑って暮らしたいです。

相談相手がいることが支えに

はなこさん（71）介護歴4年
他人事だった認知症。主人（たろうさん）が認知症になって、受け入れる心の余裕もなく将来に不安を感じていた時、家族の会を知り、相談相手ができたことが支えになっています。

主人は困っている人がいると手助けしたくなる性分。体は元気で、できることもたくさんあります。認知症の人にも、もっと活躍の場があってほしいと思います。

もっと気軽に外出できる社会を

はるこさん（70）介護歴5年
主人が認知症になって免許を返納したので、買い物などの外出が不便になりました。男女別トイレには二人で入れないため、外出先の多目的トイレの場所をあらかじめ調べて出かけます。

少しの間、車いすを置かせてもらえたり、ちょっとした手助けをしてくれる人がいると、もっと気軽に外出できるのですが。



他の記事もぜひご覧ください

認知症施策を推進するための“班活動”について

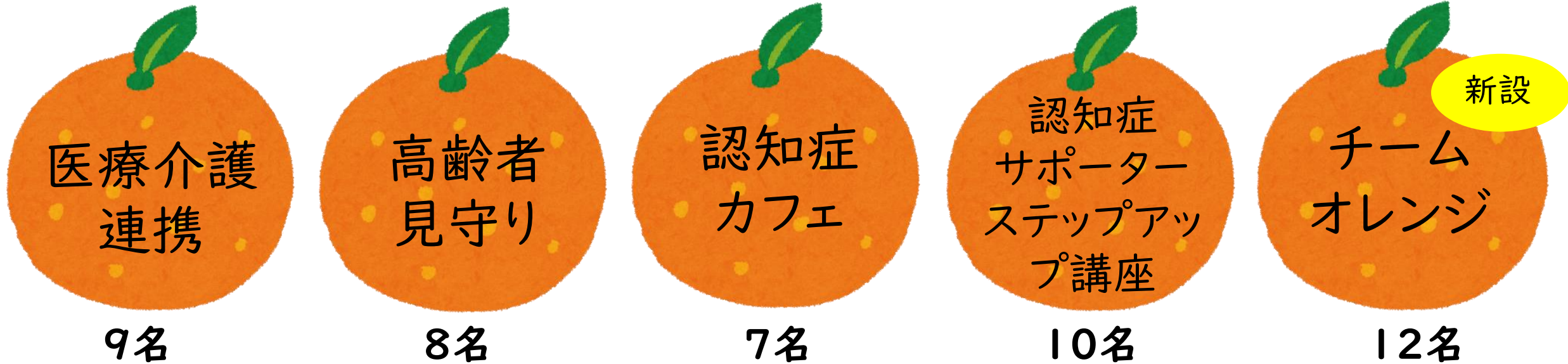
千葉市は平成26年度より認知症地域支援推進員研修の受講を開始。市から受講者に対し、「認知症ケアパス」の作成について協力を依頼し、活動開始。

通称：みかんの会

年度当初に推進員に班希望アンケートをとり、興味のある班での活動ができる体制を構築。

令和2年度は5つの班編成で活動を実施。
各班の活動目標と活動報告のため、年2回全体会を実施。

令和2年度の“班活動”について



各班員の構成

千葉県生活支援コーディネーター（認知症地域支援推進員を兼務）
千葉県あんしんケアセンター（保健師、看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士）
千葉県疾患医療センター（精神保健福祉士）
千葉県在宅医療・介護連携支援センター（看護師、薬剤師）
千葉県地域包括ケア推進課

Ⅰ. 医療介護連携班

スライド: あんしんケアセンター小仲台 村山氏 作成

千葉市は初期集中支援チームを訪問看護ステーションに委託しています。

今年度の活動計画

活動目標

認知症初期集中支援チームの活用促進

活動内容

各関係機関との意見交換を行い、認知症初期集中支援チームの活用を目的としたリーフレット「活用しよう！」

認知症初期集中支援チーム♪(仮)」を作成する。

活動実績

関係機関から活用状況について聴取

各区のあんしんケアセンターに認知症初期集中支援チームの活用状況について聴取した。

合わせて、認知症初期集中支援チームにもあんしんケアセンターからの依頼について意見を聴取した。

こんなケースは相談しているのかな？



気軽にチームに相談してね！！



あんしんケアセンター職員の認識と認知症初期集中支援チームの認識をすり合わせ、より活用を促せるリーフレット作成を目指す。

リーフレット完成

認知症初期集中支援チームに意見をもらう

- 各区でチームを設置している訪問看護ステーションを掲載し、もっとアピールを！
- 専門職だけではなく、市民にもわかりやすいリーフレットが必要かも？
- 是非、カラーで印刷して、各あんしんケアセンターやチーム、ケアマネジャーに配ってほしい！！

現在、カラー印刷注文中

知っててあんしん！ 認知症初期集中支援チーム

認知症初期集中支援チームとは

認知症が疑われる人への支援で

悩んでいるケースはありませんか？

医療・介護の専門職が、認知症が疑われる人や認知症の人のご自宅を訪問します。できる限り、ご本人の価値観や気持ちを聞きとり、ご家族と共有するとともに、必要な医療や介護保険サービスの導入・調整や家族支援などの**初期の支援を集中的に**行い、自立生活のサポートを行うチームです。

初期とは、
認知症初期という
意味だけではなく、
「初期」対応と
いう意味もあります。



どんな人が対象になりますか？ → 詳しくはP3の事例へ

原則として40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で以下の1・2のいずれかの基準に該当する人です。

1 医療サービス、介護サービスを受けていない、または中断している以下のいずれかに該当する人。

- (1) 認知症疾患の臨床診断を受けていない人。
- (2) 継続的な医療サービスを受けていない人。※
- (3) 適切な介護サービスに結び付いていない人。
- (4) 介護サービスが中断している人。

※(2)は認知症に対する医療に繋がっていない人。

2 医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している人。

2. 高齢者見守り班

スライド: あんしんケアセンター土気 原田氏
あんしんケアセンターこてはし台 藤江氏 作成

	見守り訓練実施状況	班活動	考察・課題
H28年度	2か所	・ 事例集作成	新規実施時のバックアップ体制の検討
H29年度	4か所	・ 高齢者見守り訓練のプレゼン資料の作成	訓練実施のための経費（のぼり・ゼッケン・印刷等）がかかる
H30年度	6か所 市で訓練用ビブス 必要時レンタルができる仕組みができた	・ 警察との連携体制づくり ・ どこシル伝言板を導入した訓練支援	班名「徘徊模擬訓練班」の名称変更 市内訓練事例が増えてきているため、ホームページ等の実施状況が把握しやすい体制づくりが必要
H31年度 (令和元年度)	5か所	・ 警察署との意見交換会 ⇒3月実施予定が中止	訓練のみではなく、認知症高齢者の見守り体制の構築に向け活動を広げる必要性がある
令和2年度	0か所 ※コロナのため中止	・ 警察との意見交換会	今後警察署内での認知症サポーター養成講座実施につながると良い



高齢者
見守り

警察との連携に向けた体制づくり

高齢者の見守り体制構築のためには警察との連携が不可欠

- ・警察の対応方法について知りたい
- ・警察にもあんしんケアセンターについて知ってもらいたい
- ・警察の方は認知症について学ぶ機会があるのだろうか？

⇒警察との意見交換会を計画

令和2年3月実施予定であったが、新型コロナの影響で中止

令和3年3月15日に実施予定

事前にあんしんケアセンターの方に
警察の方へ聞きたいことを調査！

令和3年3月15日
オンラインと会場のハイブリット開催！！

警察との意見交換会

「千葉市徘徊高齢者SOSネットワーク事業に係る担当者会議」

内容

1. 千葉市徘徊高齢者SOSネットワーク事業の実施状況について
2. 千葉市高齢者保護情報共有サービス事業について
3. 認知症サポーター養成講座について
4. みかんの会「高齢者見守り班」との意見交換
5. 質疑応答

3. 認知症カフェ班

スライド：あんしんケアセンター高洲 高橋氏
生活支援コーディネーター川上氏 作成



2021.3月現在、開催中のカフェは31か所中、6か所!!
オンラインを取り入れた認知症カフェは3か所あります♪

<活動目的>

コロナ禍でもカフェを再開・開催できるよう、支援を行う。

意見交換会のあと、認知症
カフェ班の支援で1か所の
カフェがオンライン開催を
始めることができた!

<活動内容>

認知症カフェ主催者意見交換会への参加

市主催でオンライン開催

R2.6～8回開催 班としては9月～参加)

認知症カフェ班の周知やカ
フェを再開するために必要とさ
れていることについて直接聞き
取りを行いました。

また、その時に応じて地域の
情報提供も行いました。



第7回（1月）の意見交換会の様子



<活動内容> 千葉市認知症カフェマップの再編

千葉市認知症カフェ 一覧

認知症カフェって？
認知症カフェは、認知症の人やその家族、認知症のことが気になる人、ボランティア、そして医療やケアの専門家、行政担当者などが気軽に集まり話を飲みながら、語りあう（対話を通じた）場所です。

※ カフェ名前に（★）の記載があるカフェはオンラインでも参加可能です。

NO	区	カフェ名称	開催場所	問い合わせ先	開催日時
1	中央区	茶屋「心」	新田2-5-3 心茶屋・心茶屋	043-305-0063	毎月第4土曜日 14:00~16:00
2	中央区	アトホームカフェ 西千葉	新田2-21-16 アトホーム西千葉	0120-74-1134	毎月第4日曜日 13:30~15:30
3	中央区	流野館	流野館015 あふみカフェセンター・流野	043-305-0052	毎月第4水曜日 13:30~15:30
4	中央区	流野館・流野館	江戸前543-5 江戸前543-5 流野館・流野館	080-4945-9980	毎月第1土曜日 14:00~16:00 (お昼休み)
5	中央区	アトホーム	中央2-12-15 アトホーム・アトホーム	043-268-5152	毎月第2土曜日 14:00~16:00
6	中央区	お茶の会・お茶の会 (お茶の会)	新田3-159-2 お茶の会・お茶の会	070-2157-1673	毎月第1水曜日 18:30~22:00
7	中央区	アトホーム	中央2-12-15 アトホーム・アトホーム	043-250-5256	毎月第4土曜日 13:30~15:00
8	中央区	土曜「お茶の会」	中央1-4-7 土曜「お茶の会」	043-296-3221	毎月第3土曜日 13:30~15:30
9	中央区	アトホーム	新田153-1 アトホーム・アトホーム	043-207-6556	毎月第3日曜日 10:00~12:00
10	中央区	お茶の会・お茶の会	新田180-2 お茶の会・お茶の会	043-207-5599	毎月第2・4土曜日 11:00~15:00
11	中央区	Green57 (★)	中央1-1-15 Green57・Green57	043-284-6811	毎月第1土曜日 13:00~15:00
12	中央区	アトホーム	中央11-2-24-104 アトホーム・アトホーム	080-1299-5506	月1回 (不定期)
13	中央区	アトホーム	中央16-23-9 アトホーム・アトホーム	043-307-8500	毎月第3土曜日 14:00~16:00 (お昼休み)
14	中央区	お茶の会	中央16-23-9 お茶の会・お茶の会	043-307-8500	毎月第1・3土曜日 12:30~13:30 (お昼休み)
15	中央区	アトホーム	新田2-12-14 アトホーム・アトホーム	043-304-6666	毎月第2日曜日 10:00~12:00
16	中央区	and all cafe (★)	中央15-2-1 and all cafe	043-307-8301	毎月第1・3土曜日 10:00~16:00

※ カフェ名前に（★）の記載があるカフェはオンラインでも参加可能です。

NO	区	カフェ名称	開催場所	問い合わせ先	開催日時
17	中央区	お茶の会	新田2170-8 お茶の会・お茶の会	043-235-4867	毎月第2・4土曜日 13:30~15:00
18	中央区	お茶の会	中央2378-9 お茶の会・お茶の会	043-308-9926	毎月第1・3土曜日 11:00~16:00
19	中央区	お茶の会	中央13-23-43 お茶の会・お茶の会	043-356-8502	毎月第1土曜日 13:30~15:30
20	中央区	お茶の会	中央16-230-73 お茶の会・お茶の会	043-294-6161	毎月第1・3土曜日 10:30~11:30
21	中央区	お茶の会	中央16-230-40 お茶の会・お茶の会	043-300-8855	毎月第1・3・5土曜日 13:30~15:30 (お昼休み)
22	中央区	お茶の会	中央16-230-73 お茶の会・お茶の会	043-295-0110	毎月第1・3土曜日 10:00~12:00
23	中央区	お茶の会	中央16-230-40 お茶の会・お茶の会	043-293-4061	毎月第2・4土曜日 13:30~15:00
24	中央区	お茶の会	中央16-230-40 お茶の会・お茶の会	080-5056-9992	毎月第1土曜日 11:00~16:00
25	中央区	お茶の会	中央16-230-40 お茶の会・お茶の会	043-292-0572	毎月第3土曜日 13:30~15:30
26	中央区	お茶の会	中央16-230-40 お茶の会・お茶の会	043-277-1212	毎月3日曜日 10:00~15:00
27	中央区	お茶の会	中央16-230-40 お茶の会・お茶の会	043-270-1588	毎月第1・3土曜日 13:00~16:00
28	中央区	お茶の会 (★)	中央16-230-40 お茶の会・お茶の会	043-277-2639	毎月第3日曜日 12:00~15:00 毎月第3土曜日 13:30~15:30
29	中央区	お茶の会	中央16-230-40 お茶の会・お茶の会	043-211-0588	毎月第2土曜日 13:30~15:00
30	中央区	お茶の会	中央16-230-40 お茶の会・お茶の会	043-203-5065	毎月第3日曜日 13:30~15:30
31	中央区	お茶の会	中央16-230-40 お茶の会・お茶の会	043-239-6715	毎月第1・3土曜日 13:30~16:00

新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、開催状況、変動がある可能性があります。
開催の利便性については、お問い合わせください。

インターネットでも検索できます♪

「千葉市の生活支援サイト」
認知症カフェを含め、生活支援に関する情報を掲載しています。
「キーワード検索」から、カフェの名前を検索！
※一部、掲載されていない場合があります。
<http://chiba-kaigo.casio.jp/chiba>

2021.1月版 | 千葉市地域包括ケア推進室 (043) 245-5267



イラストは認知症の方が描いてくれました！



4. 認知症サポーター ステップアップ講座班

スライド: あんしんケアセンター松ヶ丘 佐藤氏
あんしんケアセンターにれの木台 堀氏 作成

認知症サポーターステップアップ講座の開催



開催日時・場所

10月 6日: 稲毛区
10月21日: 中央区
11月19日: 美浜区
11月30日: 若葉区
12月 9日: 緑区
12月21日: 花見川区

【午後1時～午後5時】

【各区保健福祉センター】

内 容

認知症の基礎知識
認知症の人を理解するための基礎知識
コミュニケーションの基本
コミュニケーションの実践
チームオレンジについて
地域団体の活動報告

講 師

認知症サポーターステップアップ講座班
チームオレンジ班
(あんしんケアセンター及び第2層生活支援コーディネーター)

参加者: 80名

内、60%が
70代以上の方!





講座内容で気を付けたこと (知識班)

- ・ 認知症の疾患に対する基礎知識が伝わりづらい。
模擬体験を加え認知症の方の気持ちを体感してもらう。
- ・ 尊厳や自尊心を忘れずに講義を行った。
介護体験と関連付けて説明することを心がけた。
- ・ 千葉県認知症ケアパスの活用
「本人、家族、支援者などの心構えや今後の取り組むツール」
として講義内で説明を行った。



講座内容で気を付けたこと (コミュニケーション編)

- ・ グループワークがなくなり、一人ひとりの理解が深まっているか把握がしづらくなった。



- ・ ロールプレイングでの感想を話してもらう。
- ・ ホワイトボードを利用し発言を可視化する。
- ・ 職員がファシリテーター役になり参加者と話すことで理解を深める。



講座参加者の声



60歳代

より認知症への理解が深まり、思いやりの心をどのように発揮していくかを学びました。



50歳代

目の前にいる方を一人の人として尊重する考え方の“パーソンセンタードケア”についてもっと詳しく知りたと思いました。



70歳代

チームオレンジについて初めて知りました。



実際のボランティア先について



70歳代

認知症の方と話をしたことない人も実演方式で体験・体験でき、とても良かったです。

修了者交流会の延期に伴い、
チームオレンジ班と連携し資料を発送！

<発送した資料>

○講座の実績報告

○アンケートの結果

○チームオレンジ班からのご案内

(チームオレンジ班の作成した広報誌)

(チームオレンジ班の今後の活動について)



5. チームオレンジ班

スライド: あんしんケアセンター千城台 奥野氏 作成

チームオレンジの活動支援の為にニーズ調査等（アンケート分析広報班）

初回会議にて、チームオレンジ班の活動概念において支援して欲しい人たちのニーズを詳しく調査し、支援をする人たちに伝える必要があるという結論から、あんしんケアセンターを中心にアンケート調査を行い、内容をまとめて広報活動時に説明したり、広報誌の作成を行った。

⇒ 広報誌の活用を進める（地域交流時の配布や提示・関係者への郵送など）

【評価】

- ※認知症状のある方や、そのご家族の要望などの確認ができた。
- ※活動促進のための資料を得る事ができた。
- ※日常生活の支援に関する回答が主だったため、本人や家族に直接話を伺い、認知症になっても続けたい生活などについて聴く場を設けることとなった。

チームオレンジ

地域住民の皆様へ

調査日 令和 年 月 日
 記載センター名
 記載職員名
 対象者 当事者・家族(別居・同居)

千葉市では、2025年には、認知症の方が約3万人となると見込んでおります。一方で、地

域で認知症の方を見守ることは、現在約7万人し、今後、認知症の方の見守りや、生活上の

下記アンケートの結果を基に、検討を行う予定です。つきましては、下記の内容について、回答いた

1. もしも、家族や身近なことが不安です

2. 同居している家族が、今後、

「必要と思う内容」を「X」を付けてください

① () 訪問して様子確認と話し相手
 ② () 近所の散歩の付添
 ③ () 買い物などの同行と金銭支払いの支援

- ④ () 徒歩圏内の美容室や床屋などへの送迎
- ⑤ () ゴミ出しやゴミの分別
- ⑥ () 公共料金や保険料などの支払い時の付添
- ⑦ () 室温や火の元の確認
- ⑧ () 出入り自由な交流の場の提供
- ⑨ () 介護者同士の情報交換の場の提供
- ⑩ () 郵便物の内容の確認と分別
- ⑪ () 声をかけて安全な場所などへの誘導
- ⑫ () 徒歩圏内の病院への送迎や受診中の見守り
- ⑬ () 徒歩圏内の本人の趣味活動場所への送迎
- ⑭ () 認知症カフェへの同行
- ⑮ () 戸締りへの声掛け

その他必要(あったらいいな)と思われる支援内容があればご記入ください(自由記述)

よろしければ今後も、お困りのことやご意見、ご要望等を教えていただければと考えております。

もしご協力いただける場合は、以下にご連絡先等をご記入ください。後日、担当よりご連絡させていただきます。(※記入は必須ではありません)

令和 年 月 日 ご本人氏名
 ご家族氏名
 ご連絡先 住所
 電話

ご協力ありがとうございました

『認知症の方にとって必要と思う支援』についてアンケートを実施しました！

アンケート実施期間2020年8月～9月

2025年には千葉市の65歳以上の認知症高齢者の方が約3万人になる見込みと言われています。認知症の方が地域での生活を続けていくために、どのような支援が必要と

千葉市にお住まいの認知症の方とご家族の90名にアンケートのご協力をいただきました。この結果から、今後地域で認知症の方を支える活動(チームオレンジ)として地域の方々に必要な社会資源等の情報提供を考えています。

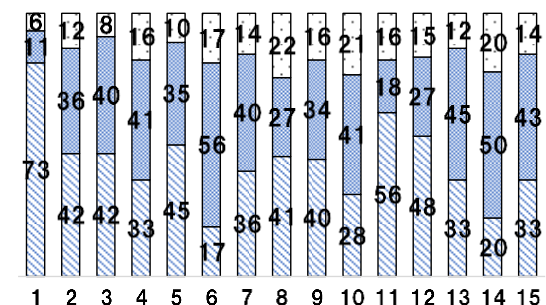


認知症の方が必要と思う支援について①

必要 □ どちらかと言えば必要 □ 必要なし

対象者90人
 単位:(人)

調査期間:2020年8月～9月



【項目】調査・集計:千葉市チームオレンジ班

【アンケート結果より必要と回答した割合が多い順位】

1位「1訪問して様子確認と話し相手」81%

2位「11声をかけて安全な場所などへの誘導」62%

3位「12徒歩圏内の病院への送迎や受診中の見守り」53%

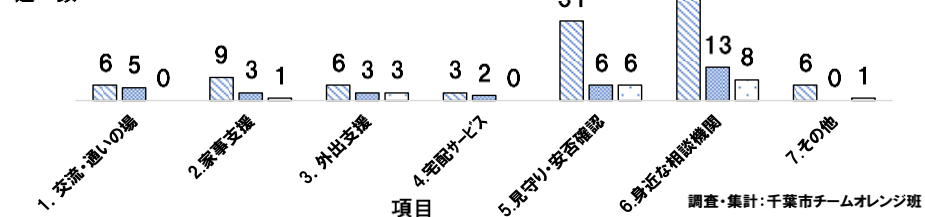
※介護保険サービス範囲ではできない支援を、多くの方が必要とされている結果になりました。

【自由記載で希望が多かった支援内容について】

当事者・家族共に1位「身近な相談機関」2位「見守り・安否確認」が必要という意見が多かったです。

認知症の方が必要と思う支援について② 調査期間:2020年8月～9月

単位:(人)
 延べ数
 □ 当事者合計 □ 同居家族合計 □ 別居家族合計



調査・集計:千葉市チームオレンジ班

チームオレンジの活動支援の為に二週調査等（本人ミーティング班）

アンケート回答者を軸に「本人ミーティング」を企画し、訪問型・集合型で調整を行うこととなった。

⇒コロナ禍の中で、意見交換や要望の聞き取りに際して接触することを不安に感じる方が多く、現在調整中となっている。

【評価】

※日常生活を支える支援以上に、本人のやりたいことや、やっていたことの復活や継続ができるような具体的活動を更に検討する必要を感じた。

“班活動”の目的

(私は) 最初は「事業を進めること」が目的でした・・・

今年中にチームオレンジ
を1つは結成しよう!!

リーフレットを作ろう!

認知症カフェの再開!
認知症カフェを増やさないと・・・

警察と意見交換会をやらないと...

ステップアップ講座を
6区で開催する!!

班活動を進めるなかで、
少しずつ変わってきたこと・わかってきたことがあります

班活動を通しての“気づき”

- ・・・リーフレットを使う人に意見を聞いてみよう
- ・・・警察との連携で困っていることが何か聞いてみよう
- ・・・認知症カフェ主催者の人に、再開に向けた必要な支援はあるか聞いてみよう
- ・・・ステップアップ講座だけやればいいのか？
チームオレンジ班と連携しよう
- ・・・チームオレンジで何をしてあげたらいい？
「してあげるがそもそも違う！」
考えるのではなく、「相談」「支援」でもなく、本人に聞いてみよう

当たり前のようで、今まで見逃していた気づきがあったように思います。

“気づき”と取り組みの結果・・・

考えていること、やろうとしていることの関係ある人と
“一緒に考えること”
必要としている人、埋もれている希望に
“耳を傾けること”



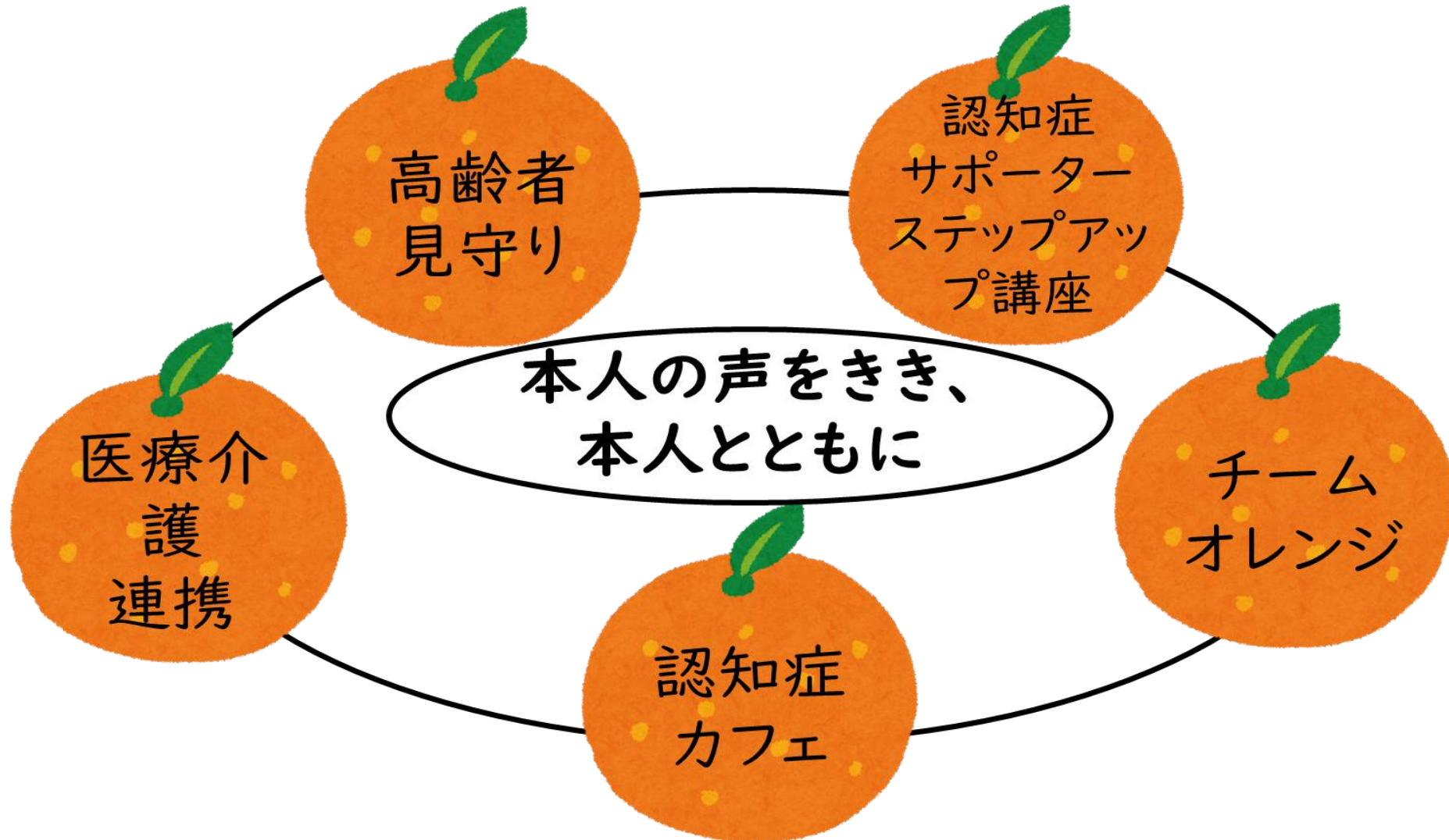
「使いたい!」と思うものができた
「つながっている」ことを実感できた
これからやりたいこと、やるべきことが見えてきた

今後の班活動について

本人の声をきき、本人とともに活動
→常に意識する

各班での取り組みを繋げる

今後の班活動について



行政に求められていること

一緒に活動してきた推進員のみなさんに聞いてみました

- 班活動に参加していない関係者に対する推進員活動の周知
- 班活動の連携のため、各班の情報交換の場の設定
- 他市の推進員の活動例や全国的な推進員の動きなどの情報提供
- 法人に推進員の活動を理解してもらえるような働きかけ
- 地域の空きスペースなど、活動拠点となりうる場の情報提供
- 担当している圏域のキャラバン・メイトの情報やステップアップ講座修了者の情報を可能な範囲で教えてもらえると一緒に地域づくりができる
- 今後も役割分担をしながら一緒に活動してほしい

推進員のみなさんの声をうけて、 今後取り組みたいこと

- 班活動の連携のため、定期的な班同士の情報共有・意見交換の場の設定
- 他市の情報や全国的な取組、市内の活用しうるさまざまな情報を提供
- 圏域ごとのキャラバン・メイトの情報やステップアップ講座修了者の情報を可能な範囲で情報提供
- 認知症本人（当事者）の班活動への参画を呼び掛ける

本人の声、本人の活躍、班活動がつながりあって、
認知症施策・地域共生を進めていく



市認知症施策担当

本人・関係者と一緒に企画・運営

活動が続けていくための土台作り（活動しやすい環境作り・調整、仕組化等）

まとめ

認知症の人の希望、その人にしかできないことを
認知症の人と家族、地域の人、認知症地域支援推進員
のみなさんと“一緒に”つくりあげていきたい

まだまだ課題は山積みですが、
少しずつ、一歩ずつ、進んでいきたいと思います。